

## お知らせ

## 年末・年始の役場事務

役場は28日が仕事納め。ご用の方はできるだけ午前中においでください。29日から1月3日まで休ませていただきます。ただし、死亡届は宿・日直者が受け付けます。年末は窓口がたいへん混み合いますから、ご用の方はできるだけ早めに…。

新年の仕事始めは1月4日から。一般事務は午前中のみです。

►公民館の一般使用は今月27日まで。1月は6日からです。

## ゴミ・し尿は

►12月31日まで平常業務を行い、元旦から1月3日まで休みます。  
►ゴミの不燃物、危険物については、埋立地が山間地にあるため12月6日を最後に、来春の運行ができるまで収集業務を休止しました。その間の不燃物・危険物については家庭で保管を一  
►し尿くみとりは年末になると申し込みが殺とうし、年内に回りきれない場合がありますし、雪が降ってからでは車の入れない所もでてきます。申し込みはお早めに――。

固定資産税(3期分) 12月25日が  
国民健康保険税 納期です。



中之島老人大学講座  
で小学校の庭木を

中之島老人大学講座の盆栽教室（会長羽賀竹朗）では、冬の訪問を前に十一月二十日、中之島小の庭木を教材として「庭木の冬用い」講座を開きました。講師の指導でつぎと効果的にまた外観よく冬用いされる庭木は、二時間もするとともうすっかり暖かそうに冬仕度が完了。また、学校側も願つてもない実習とあって、どちらも一石二鳥の講座でした。

工業統計調査  
にご協力を!!

製造業に属する事業所等を対象に12月31日現在で工業統計調査が行われます。1月中に調査員が伺いますからご協力をお願いします。

ご注意を!!  
信越線押切～見附駅間の刈谷田第一踏切（大曲戸地内）の操作機が、冬期間（12・15・16・17・18・19・20）は通行の際、列車の確認を十分してから踏切りをわたるようお願いします。

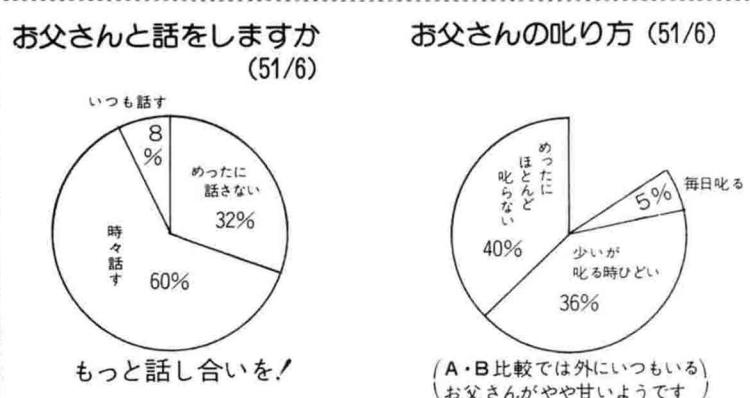
## 中央小 いまここまで



12月7日撮影

ご覧ください。中央小の建設工事は順調に進んでおり、だいたいの容姿を現わしていました。今年中に三階までのコンクリート打ちを完了する予定で、工事の進行状況は約四十三%くらいになります。来年に入ります。手は内部工事に着いてからは、校舎を完成する運びとなっています。

ことし中に  
コンクリート  
打ちを

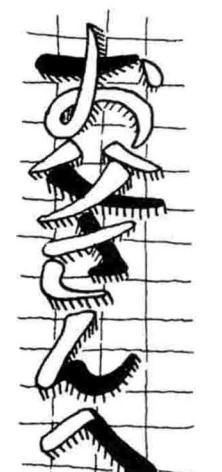


ほくのおとうさんは、まいばんビールやおさけをのむ。けれどもよつぱらはない。

日曜日の前の日に「あした休でしよう。だつけえ〇〇〇〇〇〇へつれでいついのー。」「つれていつてやるぞ。」といつてもつれていくてくれない。

おとうさんはときどきこわい。いどにつるさげられる。「どうだまいったか」とどなり声でおと

三年男  
子



おとうさんは、ときどきさけをのんでくる。夜やくそくしたのに、つぎの日になるとほけたような顔をしてあっちへいく。朝ごはんを食べる時、大きな口を開けてたべる。

わたしが一ぱんうれしいところは、どこかへつれていってくれること。一ぱんいやなところは、さけをのんでくること、おとうさんは夕方になつて六時に帰ることもあるし、七時に

帰ることもある。六時に帰ってくるとごはんを食べてから、わたしのくつやおにいちゃんのグローブやバットを買ってくれる。日曜日になると、ときどき長岡やゆうえんちへつれていってくれる。子どもの日になると五百円もくれる。長岡へいくと、食どうにいつてジュースやすし、いろいろなものを買っててくれるおとうさんて大きさ。

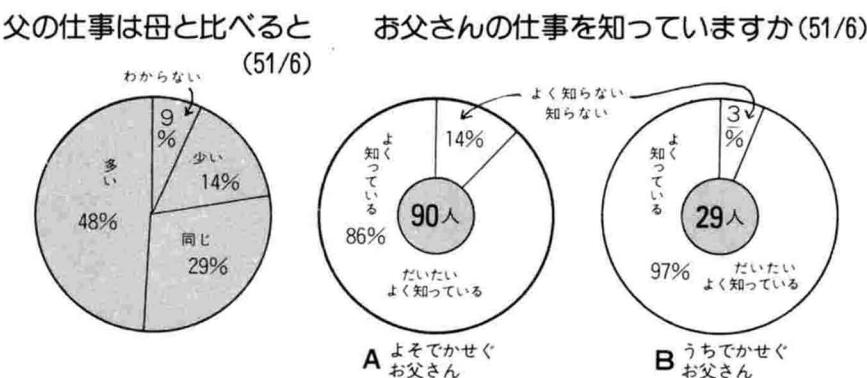
二月一日から二十五日まで全国一斉に展開されています。中之島村では、みんなからご協力いたいた赤い羽根共同募金の一部を歳末たすけあい運動にあてています。

ことし、みなさんから寄せられた温かい善意は六十五万二千九百十五円にもなりました。このうち、県共同募金会へ三十六万五千二百円が納入され、地域の実情に応じて配分されます。

残りの二十八万七千七百十五円は歳末たすけあい援護金として、村内の生活に恵まれない世帯や重度の障害者、施設入所者、独居老人などに配分され、少しでも明るい正月が迎えられるようとに贈られました。



中条小学校の  
お父さん調べから



時には厳しく

お父さんに対する親密感は、一叱るお父さんはこわい……だから話をしないという考えは少ないようです。叱つてもやさしいお父さん、話はたまにしないがやさしいお父さんが多いのです。

小学生の子を持つお父さん、あなたのお子さんが「家庭生活」において父親の在り方というものをどのように受けとめているか、考えてみた」とがりますか。

中条小学校（高橋章校長、百十九名）では、昨年六月（三年生以上）と今年六月（全校生徒）の二回、「お父さん調べ」という調査を行い、子どものお父さんにに対する認識の度合いを調べました。お父さん、お子さんの自が「父親」というものを感じておられるか、いつしか考えてみていく

“生活の糧を確保している父親の働き”については、昨年も今年も八〇%以上の人気が知つていると答えています。が、その父親の仕事を見ているか、といふ問ひでは、B（うちでかせぐお父さん）が高くありません。

「機械化農業のために、田に汗する家族労働の喜びを子どもは知つていないのでないでしょか」――。

## 51年度 上半期(4月から9月まで)の収支状況

### \*一般会計

歳 入		歳 出			
区 分	予 算 額	収 入 濟 額	区 分	予 算 額	支 出 濟 額
村 税	1億7,768万円	1億5927万6千円	議 会 費	3,519万円	1,638万6千円
地 方 交 付 税	5億7,593万4千円	4億5,056万7千円	総 務 費	1億8,132万2千円	7,487万6千円
国 庫 支 出 金	1億8,580万8千円	2,542万5千円	民 生 費	1億8,393万7千円	8,361万円
村 支 出 金	1億9,180万円	738万5千円	衛 生 費	5,777万6千円	2,974万2千円
県 支 出 金	4,525万2千円	817万3千円	農 林 水 産 業 費	7,931万5千円	3,492万7千円
地 方 講 与 税	3,500万円	3,459万3千円	商 工 費	2,421万円	1,956万6千円
縁 越 金	3,376万円	1,350万2千円	土 木 費	3億518万3千円	9,047万7千円
分 捐 金 及 び 負 但 金	2,780万6千円	619万8千円	消 防 費	7,010万円	3,727万7千円
諸 収 入	2,564万5千円	976万9千円	教 育 費	3億4,753万2千円	9,527万7千円
自動車取得税交付金	2,300万円	513万円	公 借 費	5,425万7千円	1,678万3千円
そ の 他	1,763万7千円	合 計	予 備 費	50万円	
合 計	13億3,932万2千円	6億6,666万8千円	合 計	13億3,932万2千円	4億9,892万1千円

昭和五十一年度の一般会計の当初予算については、広報四月号でお知らせしましたが、当初タートした予算はその後国の公表事業費などの決定により、一ヶ月後で予算はそのままに九月末までに一千五百四十一万五千円で、

□九月末現在の収支は、一千円となりました。一千円となっています。

### □51年度の主な建設事業費

事 業 名	51年度予算額
中之島中央小学校校舎建設事業	1億9,768万7千円
村道整備事業(新設改良・舗装)	1億8,620万円
村道・橋りょう修繕工事	900万円
(都市計画)街路事業	3,000万円
(都市計画)都市下水路事業	2,000万円
一般農道整備事業	2,828万5千円

### 国保特別会計

#### 50年度 決 算

歳 入 2億8,166万9千円  
歳 出 2億6,768万2千円  
歳入歳出差引 1,398万7千円 (黒字)

#### ■歳出

保険給付費	総務費	保険施設費	その他の
2億4,962万1千円			
958万円	776万8千円		

### 五十一年度の執行状態

当初三億七百四十九万円の予算額で出発しましたが、その後補正もなく、現計予算総額は当初の予算額と変わりありません。

●九月末現在の収支は、一千五百四十一万五千円となっています。



## 子ども会づくり着々と

子ども会育成地域懇談会から

### 地域からのご協力を



十一月二十九日から十二月一日までの三日間、各地域ごとに行われた子ども会育成地域懇談会を追ってみました。懇談会では活発な、また、建設的な意見が多く出され、子ども会育成に寄せる関係者の熱心さが伺えました。

この懇談会後、各地域の出席者(代表者)は、それぞれの地域に即した子ども会づくりについて話し合い、十二月十七日の公民館での「子ども会育成推進会議」で意見が煮つめられることになっています。

も加入していただき、子どもたちの指導や世話役としてリーダーシップをとってもらいたいと思っています。

### くい違いの点が……

中之島村青少年問題協議会、教育委員会の考へている“地域子ども会”は、現在各小学校のなかにある校内活動における“子ども会”とは別で、校外活動、いわゆる学校を離れた家庭社会、地域社会における“子ども会”ということなのです。土、日曜や祭日の子どもたちの過し方を、“地域ぐるみで考えてやろう、そして年々増加の傾向にある青少年の非行防止にも力を入れよう”ということなのです。

### 地域に即した子ども会を……

#### 町内会・部落単位で

子ども会は、各町内、部落単位で一つを考えています。

それぞれの地域の特性を生かせるよう、また活動がしやすいように、ということです。

### 小学生を対象に……

#### できれば中学生からも

現在考へている子ども会は、小学生を対象に考えています。

中学生では校外活動やクラブ活動、それに高校入試などがあつて——。しかし、できれば中学生などから

将来にならう子どもたちの育成は、子を持つ親の責任だけではありませんし、学校だけでもないはずです。家庭と学校、そして、それをとりまく地域全体の三本柱でなければならることは言うまでもありません。

この育成にあたっては、子どものいない家庭からも深い理解と協力が必要なのです。

そして、子ども会結成と同時に、地域では育成会をつくり、子ども会を外から暖かく見守り、指導、育成してほしいのです。

あくまでも主体は子どもなのです。

### 基盤のできている地区も

地区別では、上通、中条、西所、中之島などは、だいたいの基盤ができており、活動している子ども会もあって、今後はそれを充実させていく考えです。

声……該当する子がないため、懇談会に出席するまで子ども会があることすらわかりませんでした。地域子ども会の必要性を痛感し、ぜひ協力をさせていただきたい。

既存の子ども会を尊重し、こわさないように慎重にやる必要があります。

あくまで子ども主体の会であるので、親や育成会があまり口だしをせず、のびのびとやらせてあげたい。

親は、自分、他人の子の区別なく、悪いところは注意し合って地域一体で子ども会育成に協力しなければ——。

PTAや各学校の育成会ではいろいろな制やくがある。それを離れて(学校を離れて)部落でなければできないようなものを子ども会でやるように指導を——。





